

提 言 書

平成31年3月20日

平成30年度
とっとり若者地方創生会議

とっとり若者地方創生会議（平成30年度）

会 長	西岡 大穂（鳥取大学農学部3年）
副会長	吉田 真優（公立鳥取環境大学経営学部2年）
委 員	大島健太朗（鳥取大学地域学部4年）
	黒木 初乃（公立鳥取環境大学経営学部2年）
	牛木のどか（公立鳥取環境大学環境学部1年）
	井上 恵織（鳥取大学農学部1年）
	盛本 佑介（公立鳥取環境大学環境学部1年）

■会議等開催実績

○会議（全26回）

平成30年 5月 8日・24日、
6月 7日・19日・28日、
7月10日・18日・25日、
9月20日、
10月 3日・10日・18日、
11月 6日・13日、
12月 5日・10日・19日、
平成31年 1月 9日・16日・23日・30日、
2月13日、
3月 6日・11日・19日

○活動内容（主なもの）

- ・鳥取大学・公立鳥取環境大学 学生へのアンケート
(平成30年5月～6月)
 - ・岡山市「大学生まちづくりチャレンジ事業」視察
(平成30年11月3日)
 - ・地元企業見学会（イベント）「企業まる見え！見学隊」
第一弾 大山乳業大潜入（大山乳業農業協同組合）
(平成30年11月18日)
第二弾 TOTTORIBANK Watching（株式会社鳥取銀行）
(平成31年1月17日)
 - ・地域と大学生をつなぐハンドブック
ー今どきの大学生の生活感～鳥取編～ー作成
(平成30年12月～平成31年3月)
- (その他)
- ・鳥取自動車道活性化協議会・torimori. サポーターズの主催の
鳥取の魅力発見イベント“TOTTORI じゃないと”への協力
(平成30年7月～9月)

提 言

■背景

鳥取市には鳥取大学と公立鳥取環境大学の2つの大学があり、県外出身の学生が8割以上を占めている。しかし、2019年3月の県内就職率は、公立鳥取環境大学で10.1%、鳥取大で21.8%であり、卒業生のほとんどが県外の就職先を選択している。また、15～24歳の若年層の転出超過が拡大するなど、若者の流出が続いている。若者人口の社会減が進むと、地域経済やコミュニティを支える担い手人材が不足し、地域の衰退を招く。若者の地域定着を促進する方策が求められている。

■活動内容

とっとり若者地方創生会議では、若者の地域への定着、特に大学生の鳥取への定着を目的として、平成29年度活動から得た以下の3点をテーマに平成30年度の活動を展開した。

- ①若者に伝える・伝わる広報の調査研究
- ②若者目線の鳥取の楽しみ方の提案
- ③学生×学生×大人 いろいろな人をつなぐイベントの開催

具体的には、

- 地域と大学生をつなぐハンドブック
ー今どきの大学生の生活感～鳥取編～ー 作成
- 鳥取自動車道活性化協議会・torimori. サポートーズの鳥取魅力発見イベントへの協力
- 地元企業見学会（イベント）「企業まる見え！見学隊」開催
第一弾 大山乳業大潜入（大山乳業農業協同組合）
第二弾 TOTTORIBANK Watching（株式会社鳥取銀行）
- 岡山市「大学生まちづくりチャレンジ事業」視察・岡山市内大学生との交流などに取り組んだ。

■活動経過

平成29年度の活動やこれまでの経験・反省を踏まえ、平成30年度の活動に取り組んだ。また、今年度は、鳥大生が中心となって企画に取り組んでいる「torimori. サポートーズ」との連携や、岡山市の視察において岡山市内の大学生と意見交換を行うことができた。そのほか、企業見学会では大山乳業農業協同組合様や㈱鳥取銀行様に御協力いただいた。

今年度の取組で成果を確認できたこと、反対に課題が見つかったこと、参加者の声やメンバーでの話し合いで明らかになったことを踏まえ、来年度の活動につなげたい。来年度のとっとり若者地方創生会議の活動として、以下のテーマを提案・提言する。

■提言内容

◆テーマ

- ①若者（大学生）の活動にスポットライトを当てる
- ②変化する鳥取の楽しみ方の提案
- ③若者（大学生）が働く場に求めているものを伝えていく取組

① 若者（大学生）の活動にスポットライトを当てる

平成30年度に視察した岡山市では、「大学生まちづくりチャレンジ事業」として、大学生が行うまちづくりの活動に対して補助金を設け、優れた取組に対する表彰を行っていた。この事業は、大学生がまちづくりに参画するだけでなく、表彰を受けることで、市民から注目され、取組への意欲向上につながっていると感じられた。また、事業報告会も開催されており、活動に取り組む大学生同士が交流できる機会となっていた。

鳥取市でも大学生などがさまざまな活動に取り組んでいるが、これらの活動が行政から評価され、市民にも注目されることは、大学生のモチベーション向上につながると考える。また、とっとり若者地方創生会議が活動する団体・大学生同士が交流する機会をつくることができれば、それぞれの活動の幅がさらに広がるのではないかと考える。鳥取市としても、若者によるまちづくり活動に注目し、活動に対する支援や優れた取組の市民への紹介など、必要な支援をお願いしたい。

② 変化する鳥取の楽しみ方の提案

今回、私たちが協力した「鳥取自動車道活性化協議会と鳥大生による torimori. サポーターズ」の魅力発見イベントなど、県外出身者も多い大学生に鳥取の魅力を伝えていく企画は、他の団体も取り組んでいる。私たちの活動と共通しているテーマは、「鳥取にしかない」ものをもっと楽しんでもらい、鳥取への愛着を持ってもらうこと。鳥取の楽しみ方も、さまざまな地域の魅力やアクティビティの出現によって変化しているほか、雨や雪などの天候の変化への対応も求められており、とっとり若者地方創生会議が今後いろいろな意味で変化する鳥取の楽しみ方を提案していきたい。このことは、大学生だけでなく、県外から鳥取を訪れる人や外国人観光客にとっても有効なものであることから、鳥取市としても素材や活動団体の情報提供をはじめ、必要な支援をいただきたい。

③ 若者（大学生）が働く場に求めているものを伝えていく取組

若者（大学生）の鳥取への定着を目的として、大学生と社会人をつなぐイベントや企業見学会などの取組を進めてきた。これまでは、若者（大学生）にアプローチする取組だったが、来年度は今回まとめたハンドブック等も活用しながら、採用される企業等に対するアプローチとして、若者（大学生）の現状や働く場に求めているものを伝える取組にチャレンジしたい。鳥取市としても、企業・関係団体の情報提供をはじめ、必要な支援をいただきたい。